

平成29年度 第二藤花荘事業報告

【施設種別】	障害者総合支援法による障害者支援施設	
	【利用定員】生活介護事業	50名
	【利用定員】施設入所支援事業	50名
【併設事業】	【利用定員】短期入所事業	5名

利用者の高齢化がますます進む現状において、障害のみならず老化等による機能低下により、介護度がますます高まるとともに、様々な疾病に罹患する方も多くなってきた。高齢化に伴う日常生活における介護・医療・保健等への今後の支援のあり方についてさらに検討を加えるとともに全体の利用者に対する支援の充実化を目指し取り組んできた。

24歳から90歳という利用者間における年齢差を考慮するなかで利用者それぞれのニーズに応じた支援体制を整え、地域、関係機関及び各事業所との連携を図り、福祉ネットワークの一角を担う事業所として障害者の支援に努めた。さらに、利用者への質の高いサービスの提供を目指し、職員の資質向上及び経営意識の高揚を図り、利用者のニーズ実現に向けて家族等との連携を大切にするとともに利用者が生き生きと安全に、安心して日々の生活ができるよう努めた。

また、昨年に引き続き施設整備計画検討課題として給食サービスに関する見直しに取り組んだ。

短期入所事業の利用者については、前年に引き続き個々の体力、能力等を勘案し、個別支援計画に基づき、施設利用者の日課等に合わせ、支援を行った。

1 事業の目的

当施設は、高齢な知的障害者を主に、重度知的障害者等を対象とした障害者支援施設であり、利用者の年齢、障害の程度、体力、おかれている家庭環境等も非常に多様化にあるため、個別あるいは小集団での生きがいの活動を重視した支援を行うことを目的とした。

2 事業方針

法人の理念「愛するものは愛される」の精神に基づき、「いたわりあい たすけあい おだやかに ともにくらす」を基本理念とし、その実現を目指す支援に努めた。

- 1 利用者の意思および人格を尊重し、利用者個々のニーズに基づいた適切な支援計画を作成し実施した。
- 2 できるだけ居宅に近い環境の中で、家庭や地域との結びつきを重視し、毎日の生活が、心豊かに、生きがいを持って暮らせるよう支援した。
- 3 関係市町村、他の事業者、保健医療機関等との連携を図り、総合的な支援サービスに努めた。
- 4 利用者の自己選択、自己決定ができるよう情報提供に努めた。
- 5 家庭の状況等の把握に努めるとともに、相談、支援等適切な助言又は援助にあたり、安心して施設利用ができるよう努めた。
- 6 職員の資質向上と経営意識の向上に努めた。

3 事業内容

日中活動と住まいの場を切り離し、利用者の障害、心身の状況、年齢、個々のニーズに基づき適切な支援、介助、介護に努めた。

方針に基づく内容は、次のとおり。

1 利用者への支援サービス（日課、週間、年間行事計画による）

日中活動支援

生活介護事業

常に介護を要する人に、入浴、排泄および食事、洗濯、掃除等の家事並びに日常生活上の支援、創作的活動等の機会を提供した。

(1) 日常生活支援

日々変化する利用者の健康状態を把握し、身体機能の低下、精神的な変化を常に観察し、見守り・声掛けか介助・介護かを見極め支援した。

また、人生を楽しみ、潤いや生きがいのある生活が送れるように支援した。

- ① 基本的な生活習慣の習得、保持、介助・介護、健康管理・服薬管理、心理的ケア
- ② 一般社会生活習慣の習得、礼儀作法、金銭管理、対人関係の調整
- ③ 衣服・寝具の管理、清潔保持

(2) 創作的活動支援

活動を通して、心豊かに生きがいのある生活が送れるように支援した。

① 機能訓練

歩行、ラジオ体操、リハビリ・足浴、造形、音楽療法等を通し、心身機能の安定が図れるよう支援した。

- ・活動グループ 屋内班、屋外班

② 作業活動

生きがいの作業活動等を通して、心身の健康保持が図れるよう支援した。

- ・活動グループ 洗濯班、手芸班

③ レクリエーション活動

歌を歌ったり聴いたり、回想法、映像、運動、遊戯、クラブ活動、趣味の活動等を通し、心身機能の安定が図れるよう支援した。

④ 社会参加

買物、飲食、娯楽等を目的とした外出や地域行事への参加等を通し、社会とのつながりを実感できるよう支援した。

(3) 介護予防のための支援

① 健康指導を通して自分の身体の状態を知り、身体をいたわりながら元気に生活できるよう支援した。

② 栄養指導を通して、疾病の予防および改善に努めるとともに低栄養状態にならないよう気をつけながら利用者が生涯おいしく食べられて、楽しく話し、楽しく笑える生活ができるよう支援した。

居住支援

施設入所支援事業

施設に入所している人に入浴、排泄、食事などの支援、介助等を提供した。

(1) 日常生活支援

望ましい生活習慣や行動様式を身につけ、人生を楽しみ、潤いや生きがいのある生活が送れるように支援した。また、日々変化する利用者の健康状態を把握し、身体機能の低下、精神的な変化を常に観察し、見守り・声掛けか介助・介護かを見極め支援した。

① 基本的な生活習慣の習得、保持、介助・介護、健康管理・服薬管理、心理的ケア

② 一般社会生活習慣の習得、礼儀作法、金銭管理、対人関係の調整

③ 衣服・寝具の管理、清潔保持

(2) 創作的活動支援

活動を通して、心豊かに生きがいのある生活が送れるように支援した。

① 余暇活動支援

テレビ観賞、音楽鑑賞、趣味の活動を支援することにより、充実した余暇を過ごせるよう支援した。

② 社会参加

買物、飲食、娯楽等、希望に添った外出を通し、社会とのつながりを実感できるよう支援した。

総合的（日中・居住共通）支援

(1) 居住環境整備サービス

日常生活が安全、快適で、できるだけ家庭に近い雰囲気を保つよう環境を整えた。

清掃、洗濯、整理整頓、安全管理等

(2) 保健医療サービス

疾病の早期発見、早期治療、感染症予防および老化予防、健康の保持増進に努めるとともに、嘱託医師、保健医療機関等との連携を図り、適切な医療管理、衛生管理にあたった。

健康診断年2回、通院・入院治療と医療記録の管理、服薬管理、施設内治療、施設内の衛生管理、検査情報の提供、家族との連携等

(3) 食生活サービス

食生活は、健康の保持増進と精神的安定を図るため、適切な食事摂取基準を満たした季節感のあるバランスのよい食事を提供した。

- ① 行事食、選択メニュー（複数献立）、調理実習、外食等
- ② 利用者の希望献立の聞き取り
- ③ 病人食、特別食の実施

(4) 自治会（こすもすの会）活動支援

利用者の自主性、主体性ならびに、共に暮らす仲間としての協調性や思いやりの心を育むことができるよう適切な助言を行った。

自治会の意見は尊重し、施設運営にできるだけ反映した。

(5) 介護給付費支給外サービス（利用者負担サービス）

社会生活上の便宜、預り金管理サービス等。

2 市町村、相談支援事業所並びに家族（身元引受人等）との連携強化

ア 適宜、市町村、相談支援事業所と利用者、職員との懇談会を実施

イ 家族並びに身元引受人等との懇談会（個別支援計画の作成）、行事への参加、家庭通信の実施

3 地域社会との連携強化

地域に密着した施設運営を行い、利用者の地域移行に対する理解と協力を得るとともに、利用者には地域の一員であることを実感できるよう努めた。

ア 地域で開催される行事に参加した。

イ 地域福祉委員会による慰問、及び交流を行った。

ウ 近隣の幼稚園、小学校、他施設との交流を図った。

エ 大学、短大、専門学校の現場実習を積極的に受け入れた。

オ 施設だよりを発行した。（4施設合同、年2回）。

4 危機管理体制の強化

ア 火災、地震その他の災害に対する予防については、別紙、第二藤花荘消防計画並びに地震防災規程を遵守した。特に東南海大地震に備え、備蓄品等の確認を行った。

地震防災訓練、避難訓練、通報訓練等 年4回実施。

藤花荘、サン・ワーク藤川、愛厚藤川の里、地元消防団、地域住民との協力体制を図るため、年1回合同防災訓練を実施した。

イ 災害時要援護者避難施設として岡崎市と協定を結んでいる。(受入数10名)

ウ 緊急時における対応については、別に定めるマニュアルに従って適切に対応した。
(事故、急病等)

5 苦情解決

利用者及び身元引受人等の苦情に迅速かつ適切に対応するために、窓口担当者をおき適切に対処した。

6 身体拘束の禁止

利用者または他利用者の生命または身体を保護するために緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束その他利用者の行動を制限する行為を行わなかった。

7 虐待防止法の遵守

利用者の人権擁護、虐待防止等のため、必要な体制の整備を行うとともに、職員研修等を実施した。

8 職員の資質向上、介助等に対する専門性の強化

ア 職場内外の研修を実施した。

イ 救命救急法の講習に参加し、資格を取得した。

ウ リスクマネジメント技法の習得、「ヒヤリ・ハット体験」に基づく再発防止策の検討をした。

エ 相談支援事業所との連携を図りながら個別支援計画を策定し、支援を実施した。

オ 効率的な施設運営と経費節減に努めた。

9 施設運営整備について

給湯配管改修工事、管理棟外壁塗装工事、空調機更新工事、網戸張替、受電設備改修工事、受水槽FMバルブ取替工事、玄関ドア改修工事

10 障害福祉サービス

短期入所事業

短期入所利用者の支援については、個々の障害の程度、体力等を勘案した個別支援計画に基づき施設利用者の日課にそって実施した。

また、保護者からの相談並びに他事業所との連絡調整を行った。

1.1 地域生活支援事業

日中一時支援事業

日中一時支援利用者の支援については、個々の障害の程度、体力等を勘案した個別支援計画に基づき施設利用者の日課にそって実施した。

また、保護者からの相談並びに他事業所との連絡調整を行った。

1.2 職員関係

諸会議ならびに研修については以下のとおり行った。

ア 諸会議

会議名	参加職員	実施状況	備考
運営会議	主任以上	18回	・運営全般について
職員会議	全職員対象	13回	・運営全般について
支援会議 (ケース検討)	施設長、副施設長、課長、主任 栄養士、看護師、生活支援員	12回	・利用者支援全般について ・利用者の要望・苦情・事故報告・新規短期利用者状況等について
非常勤職員会議	施設長、副施設長、課長 非常勤職員	12回	・職員会議内容の報告、勤務内容、常勤職員との意思疎通等全般について
ホーム別支援会議	各ホーム職員（あおい） （わかば）	12回 12回	・各ホームの利用者支援について
個別支援会議	サビ管、主任、栄養士、看護師	2回	・個別支援計画の検討
給食委員会	施設長、栄養士、看護師、調理員、生活支援員代表、利用者代表	12回	・献立内容等給食全般、栄養士・支援員との意思疎通全般について
調理員会議	施設長、栄養士、調理員	4回	・調理における諸問題について
各種委員会	各委員会担当職員	随時	
自治会（こすもすの会）	利用者、補助職員（課長、栄養士）	12回	・利用者の要望等について
施設運営連絡会議	藤花荘・第二藤花荘 サン・ワーク藤川 グループホーム代表者	12回	・4施設の情報交換、連絡調整

イ 委員会

委員会名	実施状況	内容
苦情解決委員会	随時	受付担当者の報告により検討
施設内研修委員	随時	職員の質、意欲の向上
地域交流、ボランティア委員会	随時	地域交流、ボランティア受け入れに関する検討、実施
行事委員会	随時	施設内外の行事企画等に関すること
施設だより編集委員	随時	発行に基づく企画編集等全般
虐待防止委員会	随時	虐待防止について検討
地震防災検討委員会	随時	炊き出しや備蓄品、防災用品について検討

ウ 施設外研修

主催者名	実施状況	対象職員
愛知県社会福祉協議会、福祉協会等各種研修	14回	全職種
愛知玉葉会施設長会・役員会	16回	施設長
施設長会議（全国、東海地区、県）	4回	施設長

エ 施設内研修

実施月日	研修内容	対象職員
6月8日	緊急時の対応について	全職員
9月5日	医療について（リハビリ）	直接処遇職員
9月7日	救命講習	支援員
12月5日	医療について（リハビリ）	直接処遇職員
1月11日	緊急時の対応、活動内容の提起	直接処遇職員
2月15日	サービス評価と虐待防止について	直接処遇職員

職員状況

1. 職員の配置状況

(平成30年3月31日現在)

職種	施設長	サービス 管理責任者 (副施設長)	生活支援員	看護師	栄養士	調理員	事務員	嘱託医師	その他
常勤	1	1	12	1	1	1	1	0	0
臨時	0	0	1	0	0	3	0	0	0
非常勤	0	0	8	1	0	1	1	2	1
職種	計								
常勤	18								
臨時	4								
非常勤	14								

利用者の状況

1. 市町村別人員

(平成30年3月31日現在)

市町村	人員	市町村	人員	市町村	人員	市町村	人員	市町村	人員
安城市	1	新城市	1	豊橋市	3	設楽町	1		
一宮市	2	田原市	1	名古屋市	6	東浦町	1		
岡崎市	13	東海市	1	西尾市	1				
蒲郡市	1	豊田市	3	碧南市	3				
								計	38

2. 定員及び現員

(平成30年3月31日現在)

区分	定員	障害程度区分						計
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男	26	0	0	0	0	11	9	20
女	24	0	0	1	5	7	5	18
計	50	0	0	1	5	18	14	38
%		0%	0%	3%	13%	47%	37%	100%

3. 年齢別人員調べ

(平成30年3月31日現在)

区分	20歳 未満	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	計	平均年齢
男	0	1	2	2	3	3	5	4	20	63.1
女	0	0	0	1	2	3	3	9	18	74.7
計	0	1	2	3	5	6	8	13	38	68.6
%	0%	3%	5%	8%	13%	16%	21%	34%	100%	

4. 在籍年数

(平成30年3月31日現在)

区分	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10年以上	計
男	0	0	0	4	3	13	20
女	0	0	0	1	0	17	18
計	0	0	0	5	3	30	38
%	0%	0%	0%	13%	8%	79%	100%

5. 入退所状況

(平成29年度)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月
入所	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0
退所	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0

区分		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
退所	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	1	1	0	1	3

6. 障害別人員調べ (IQ)

(平成30年3月31日現在)

区分	1～19	20～35	36～50	51～75	75以上	測定不能・不明	計
男	3	7	3	0	0	7	20
女	1	6	8	2	0	1	18
計	4	13	11	2	0	8	38
%	11%	34%	29%	5%	0%	21%	100%

7. 重複障害者別調べ

(平成30年3月31日現在)

区分	てんかん	精神疾患	肢体不自由	難聴	視覚障害	言語障害	自閉症	その他	計
男	6	4	9	2	4	4	4	1	34
女	5	9	7	4	1	1	1	2	30
計	11	13	16	6	5	5	5	3	64

8. 基本的な生活能力調べ

(1) 日常生活上の介護状況

(平成30年3月31日現在)

区分	常時全ての介護が必要	常時多くの介護が必要	時々又は一時的にあるいは一部介護が必要	点検、注意又は配慮が必要	ほぼ自立	計
男	9	9	1	1	0	20
女	7	5	3	3	0	18
計	16	14	4	4	0	38

ア. 食事面

区分	ほぼ自立	見守り	一部介助	要介助	全介助	ミキサー食	きざみ食
男	0	1	5	11	3	1	11
女	0	3	6	5	4	0	11
計	0	4	11	16	7	1	22

イ. 排泄

区分	ほぼ自立	見守り	一部介助	要介助	全介助	リハビリパンツ		夜尿
						(日中)	(夜間)	
男	1	0	4	11	4	3	6	9
女	0	6	3	4	5	6	7	6
計	1	6	7	15	9	9	13	15

ウ. 入浴

区分	ほぼ自立	見守り	一部介助	要介助	全介助	機械浴
男	0	1	1	14	4	0
女	0	2	7	4	5	5
計	0	3	8	18	9	5

エ. 歩行

区分	ほぼ自立	見守り	一部介助	要介助	全介助	車椅子	
						(施設内)	(外出時)
男	1	1	5	10	3	3	7
女	2	4	2	7	3	2	5
計	3	5	7	17	6	5	12

(2) 行動上の介護状況

(平成30年3月31日現在)

区分	多動、自他傷、拒食などの行動が顕著で常時付きそい監護が必要	多動、自傷などの行動があり、常時監護が必要	行動面での問題に対し注意したり、時々指導したりすることが必要	行動面での問題に対し多少注意する程度	行動面にはほとんど問題がない	計
男	9	9	2	0	0	20
女	4	8	5	1	0	18
計	13	17	7	1	0	38

(3) 保健面の介護状況

(平成30年3月31日現在)

区分	身体的健康に嚴重な看護が必要。生命維持の危険が常にある。	身体的健康について注意看護が必要。発作頻発傾向。	発作が時々あり、あるいは周期的精神変動がある等のため、一時的又は時々看護の必要がある。	服薬等に対する配慮程度。	身体的健康にはほとんど配慮を要しない。	計
男	11	5	3	1	0	20
女	8	4	3	3	0	18
計	19	9	6	4	0	38

9. 各種福祉手帳所持状況

(1) 療育（愛護）手帳

(平成30年3月31日現在)

区分	A（1・2度）	B（3・4度）	C	計
男	18	2	0	20
女	9	9	0	18
計	27	11	0	38

(2) 身体障害者手帳

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
男	2	1	1	2	1	1	8
女	0	2	0	0	0	0	2
計	2	3	1	2	1	1	10

10. 年金受給者状況

(平成30年3月31日現在)

区分	障害基礎年金		老齢年金		遺族年金		老齢厚生年金		年金なし	計
	施設預かり	家庭預かり	施設預かり	家庭預かり	施設預かり	家庭預かり	施設預かり	家庭預かり		
男	13	6	0	0	0	1	1	0	0	21
女	14	4	1	0	1	0	2	1	0	23
計	27	10	1	0	1	1	3	1	0	44

* 4名については障害基礎年金と遺族年金もしくは老齢厚生年金の両方受給。

* 1名については障害基礎年金、遺族年金、老齢基礎年金の3つを受給。

11. 就学状況

(平成30年3月31日現在)

区分	未就学	小学校			中学校			養護学校				高等小学校	計
		普通	特殊	中退	普通	特殊	中退	中等部	(中退)	高等部	(中退)		
男	7	3	1	0	0	2	0	1	(0)	4	(1)	1	20
女	2	5	0	3	2	3	0	0	(0)	3	(0)	0	18
計	9	8	1	3	2	5	0	1	(0)	7	(1)	1	38

1 2. 身元引受人等状況

(平成30年3月31日現在)

区分	父	母	義父母	兄弟姉妹	おじ・おば	いとこ	甥・姪	その他	なし	計
男	3	4	0	7	0	1	2	1	2	20
女	0	3	0	8	0	1	3	0	3	18
計	3	7	0	15	0	2	5	1	5	38

1 3. 成年後見人状況

(平成30年3月31日現在)

区分	父	母	義父母	兄弟姉妹	おじ・おば	いとこ	甥・姪	その他	なし	計
男	0	0	0	1	0	0	0	2	17	20
女	0	0	0	0	0	0	0	3	15	18
計	0	0	0	1	0	0	0	5	32	38

1 4. 面会・帰省状況

(平成29年度)

区分		4月		5月		6月		7月		8月		9月		合計	
		回数	日数	回数	日数	回数	日数	回数	日数	回数	日数	回数	日数		
男	面会	10	/	1	/	2	/	7	/	1	/	2	/		
	外出	4	/	9	/	5	/	6	/	4	/	7	/		
	外泊	12	24	14	35	10	22	12	25	18	45	8	17		
女	面会	12	/	6	/	7	/	9	/	7	/	7	/		
	外出	1	/	1	/	0	/	0	/	1	/	2	/		
	外泊	0	0	3	9	0	0	0	0	2	7	0	0		
計	面会	22	/	7	/	9	/	16	/	8	/	9	/		
	外出	5	/	10	/	5	/	6	/	5	/	9	/		
	外泊	12	24	17	44	10	22	12	25	20	52	8	17		
区分		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
		回数	日数	回数	日数	回数	日数	回数	日数	回数	日数	回数	日数		
男	面会	3	/	2	/	2	/	0	/	1	/	5	/	36	/
	外出	4	/	6	/	8	/	6	/	4	/	6	/	69	/
	外泊	10	20	9	23	14	25	9	35	8	17	5	11	129	299
女	面会	7	/	6	/	7	/	5	/	7	/	6	/	86	/
	外出	1	/	1	/	0	/	0	/	0	/	0	/	7	/
	外泊	0	0	0	0	4	7	1	11	1	2	0	0	11	36
計	面会	10	/	8	/	9	/	5	/	8	/	11	/	122	/
	外出	5	/	7	/	8	/	6	/	4	/	6	/	76	/
	外泊	10	20	9	23	18	32	10	46	9	19	5	11	140	335

15. 疾病処置状況

(1) 通院状況 [延べ人数]

(平成29年度)

区分	内科		呼吸器	精神科		外科	整形外科	眼科
		内診			内診			
男	52 (12)	131 (20)	1 (1)	4 (4)	102 (10)	6 (4)	24 (3)	17 (5)
女	30 (11)	158 (21)	0 (0)	4 (2)	107 (12)	2 (2)	117 (15)	47 (6)
計	82 (23)	289 (41)	1 (1)	8 (6)	209 (22)	8 (6)	141 (18)	64 (11)
区分	歯科		耳鼻科	皮膚科	泌尿器科	肛門科	腎臓内科	歯科医師会
		内診						
男	10 (3)	41 (13)	15 (5)	5 (1)	59 (6)	1 (1)	0 (0)	2 (1)
女	9 (8)	42 (14)	5 (5)	1 (1)	7 (2)	0 (0)	1 (1)	0 (0)
計	19 (11)	83 (27)	20 (10)	6 (2)	66 (8)	1 (1)	1 (1)	2 (1)
区分	公衆センター (検査)	救急外来	計					
男	2 (2)	1 (1)	473	(92)				
女	1 (1)	2 (2)	533	(103)				
計	3 (3)	3 (3)	1006	(195)				

() 実人員

(2) 入院状況 [延べ人数]

(平成29年度)

病院名	岡崎市民病院			岡崎南病院	三河病院	計
	救急外来ECU	HCU	呼吸器内科	内科	精神科	
男	0 (0)	0 (0)	35 (1)	61 (2)	0 (0)	96 (3)
女	1 (1)	2 (1)	0 (0)	103 (1)	73 (1)	179 (4)
計	1 (1)	2 (1)	35 (1)	164 (3)	73 (1)	275 (7)

() 実人員

16. 日中一時支援利用者状況 [延べ人数]

(平成29年度)

区分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
4時間未満	2時間以下	男	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	
		女	0 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)
8時間以下	2時間超 ～ 4時間以下	男	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
		女	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	6 (6)	
8時間以下	4時間超 ～ 6時間以下	男	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	4 (4)	
		女	3 (2)	4 (2)	4 (3)	4 (2)	6 (5)	4 (2)	4 (2)	4 (2)	2 (2)	4 (3)	3 (2)	5 (3)	47 (30)	
	6時間超 ～ 8時間以下	男	1 (1)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	5 (3)	17 (15)
		女	6 (2)	4 (2)	1 (1)	0 (0)	4 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	3 (2)	5 (2)	2 (1)	0 (0)	30 (15)	
8時間以上	8時間超	男	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
		女	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
計		男	2 (2)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	9 (5)	22 (18)
		女	9 (4)	9 (5)	6 (5)	6 (4)	11 (8)	6 (4)	6 (3)	6 (4)	6 (4)	6 (4)	10 (6)	6 (4)	5 (3)	86 (54)

() 実人員

17. 給食状況

食事摂取基準

(平成29年度)

	基準	実施要量内訳表
エネルギー (Kcal)	1672	1724
たんぱく質	54.9	65.8
脂質 (g)	41.9	42.8
カルシウム (mg)	584	658
鉄 (mg)	7.3	9.6
レチノール当量 (μg)	627	853
ビタミンB1 (mg)	1.0	2.22
ビタミンB2 (mg)	1.15	1.13
ビタミンC (mg)	100	103

18. ボランティア受入状況 [延べ人数]

(平成29年度)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
教養	3	1	3	3	2	1	2	1	1	1	1	1	20
芸能	11	18	14	14	6	7	7	7	7	6	6	6	109
音楽療法	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25
介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行事	0	0	0	3	0	0	0	0	5	0	0	9	17
清掃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
作業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	16	21	20	22	10	10	11	10	15	9	9	18	171

19. 福祉体験・交流会 [延べ人数]

(平成29年度)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
園児	0	0	120	30	0	0	0	0	0	0	0	0	150
小学生	0	0	0	0	0	0	0	0	39	0	0	0	39
中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	120	30	0	0	0	0	39	0	0	0	189

20. 実習生受入 [延べ人数]

(平成29年度)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	0	0	0	0	38	32	15	0	0	0	16	34	135
	(0)	(0)	(0)	(0)	(4)	(8)	(3)	(0)	(0)	(0)	(2)	(5)	(22)

() 実人員

21. 支援費基準額表

(1) 介護給付費

(平成29年度)

生活介護	区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
	単位	459	459	502	568	816	1,099
	人員	0	0	1	5	20	15

施設入所支援	区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
	単位	146	146	185	235	297	356
	人員	0	0	1	5	20	15

加算内容	人数	単位
入所時特別支援加算	0	30
地域移行加算	0	500

※ 入所時特別支援加算は開始日より30日間算定される。

(2) 日中一時支援費

(平成29年度)

岡崎市	市町村の単価による
幸田町	市町村の単価による

2.2. 短期入所利用者状況

(1) 市町村別人員

(平成30年3月31日現在)

市町村	人員								
岡崎市	14								
豊田市	3								
幸田町	2								
								計	19

(2) 利用状況 [延べ人数]

(平成29年度)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	42 (5)	51 (6)	31 (2)	38 (4)	62 (3)	42 (4)	42 (4)	38 (3)	34 (3)	37 (4)	35 (3)	40 (4)	492 (45)
女	14 (3)	22 (6)	16 (4)	25 (6)	19 (4)	24 (6)	21 (6)	20 (3)	14 (4)	26 (5)	23 (4)	21 (5)	245 (56)
計	56 (8)	73 (12)	47 (6)	63 (10)	81 (7)	66 (10)	63 (10)	58 (6)	48 (7)	63 (9)	58 (7)	61 (9)	737 (101)

() 実人員

(3) 短期入所支援費

(平成29年度)

	区分	区分1・2	区分3	区分4	区分5	区分6
区分単価	標準通常単価	492	563	626	758	892
	他利用単位	166	232	307	510	582

共通単価		加算	
短期利用 加算	栄養士 加算	食事提供 加算	障害者支援 加算
30	22	48	50

